

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1		環境大学運営費交付金	公立鳥取環境大学の運営に必要な経費の一部を助成するとともに、修学支援新制度に係る経費を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> 運営費交付金の交付 施設整備費補助金の交付 7件 授業料減免費等交付金の交付 	第2期中期目標（平成30年4月1日～令和6年3月31日）の達成に向け、引き続き県とともに安定的な運営が行えるようにする。県内就職率については、オンライン面接などの普及により、県外企業への就職活動がますますしやすい状況となっており、大学と県市だけでなく、各種団体等と協力した活動の検討など、県内就職率向上を図る。	企画推進部	政策企画課	72
2	○	中学校大規模改造事業費（令和3年度国1次補正）	構造体の劣化対策やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるなど施設の長寿命化を図ることにより、安全安心な教育環境の確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の長寿命化改良（湖東中学校）の実施 施設規模が大きいことから、【Ⅰ期工事】教室棟（S53建）、教室・特別教室棟（S62建）、【Ⅱ期工事】管理・特別教室棟（S54建）、教室棟（H4建）の2段階に分けて改良工事を実施。概ね計画どおり進捗しており、令和5年12月にはⅠ期工事を完了する見込み。また、生徒は、空調等が整備された仮設校舎での学校生活を送っているが、Ⅰ期工事完了後は、改良後の校舎に戻り、慣れ親しんだ教室での授業が再開される予定である。	生徒における学校生活への影響を最小限にするため、令和6年度末の完成に向け、引き続き工事の進捗管理を行う。	教育委員会事務局	教育総務課	378
3	○	語学指導等外国青年招致事業費	外国語を母国語とする外国語指導助手（ALT）を小中義務教育学校に派遣し、外国の言語や文化に対する理解を深め、外国語でコミュニケーションを図る積極的な態度や能力を育成する。	外国語指導助手（ALT）等の配置 <ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手（ALT）12名 外国語指導助手（ALT）コーディネーター1名 	一般財団法人自治体国際化協会から斡旋を受けたALTを各中学校に配置するとともに、中学校区内の小学校に定期的に派遣する。また、一般財団法人自治体国際化協会や県教育委員会、学校等関係機関との連絡調整、ALTの生活支援や指導等を行うためにALTコーディネーターを1名配置する。	教育委員会	学校教育課	274

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
4	○	特別支援教育推進事業費	配慮や支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、児童生徒の社会的自立に向けて一人ひとりの能力・適性・発達段階及び社会環境に応じた適切な支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 教育支援委員会を3回（年間）開催 特別支援教育支援員を67名配置 	個別の教育支援計画は、障がいのある児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導や支援を組織的・継続的・計画的に行うために重要なツールであるが、保護者の理解や協力を得られないケースがあり、作成率100%に達していない。児童生徒一人一人が能力を最大限発揮できるよう保護者に丁寧な説明を行い、保護者の理解と協力を得て、作成率100%を目指す。	企画推進部	学校教育課	276
5	○	児童生徒交流体験事業費	本市の児童生徒が「生きる力」をしっかりと身に付けるために、学校内だけではなく、姉妹都市提携を結んだ県外の子どもたちとの交流や、地域に出かけ自然文化体験、職業体験などの社会体験活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 姫路市鳥取市中学生交流事業の実施（オンライン） 学校代表 17人 郡山市鳥取市小学生交流事業の実施 3校 地域で学ぶ職場体験活動事業の実施 17校 1,425人 中山間地域ふるさと体験活動支援事業の実施 11校 486人 	姉妹都市提携を結んだ県外の子どもたちとの交流や、地域に出かけ自然文化体験、職業体験などの社会体験活動を継続して実施し、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を育成する。	教育委員会	学校教育課（総合教育センター）	277
6	○	児童生徒支援事業費	不登校やその傾向にある児童生徒一人ひとりの要因や背景、教育的ニーズを把握し、各学校における教育相談体制の充実や当該児童生徒の適切な学びの場の整備等を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 市不登校対策専門委員会の開催 2回実施 児童生徒相談員の配置 14校 スクールソーシャルワーカーの配置 8人配置 不登校児童生徒への教育支援の実施 サポートルームの運営 サポートルーム「すなはま」、「レインボー」、「かわはら」、「懐」 	不登校の未然防止や児童生徒への支援のあり方等を検討し、学校等での取組を支援するとともに、児童生徒の適切な支援と学びの場の提供や相談窓口の設置を行い、学校復帰や社会的自立に繋げる。	教育委員会	学校教育課（総合教育センター）	277
7	○	魅力と徹底の学力向上推進事業費	学ぶことの楽しさを感じられる魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組を行うことで学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 5中学校区（湖東中学校区、中ノ郷中学校区、国府中学校区、河原中学校区、福部未来学園）で実践研究を実施 	今後も魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組をより一層推進することで学力の向上を図る。	教育委員会	学校教育課	278

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
8	○	子どもたちの心と自治力育成事業費	特別活動（学級活動・児童会活動・生徒会活動・学校行事）の自発的・自治的な活動を通して児童生徒の自己有用感を高めるとともに、よりよい学校生活をつくっていく自治的能力や人間関係形成力を育成し、児童生徒の自己有用感を高める。	・3中学校区（東中学校区、高草中学校区、千代南中学校区）で実践研究を実施	今後も児童生徒の自発的・自治的活動を通して自治的能力や人間関係形成力を育成し、自己有用感を高める実践研究を継続していく。 自治力の育成が小中一貫の系統的な取組となるよう支援を継続していく。	教育委員会	学校教育課	280
9	○	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費	本市が推進する小中一貫教育を枠組みとして、学校・家庭・地域が連携、協働しながら児童生徒の将来の夢・希望や志をひらき、次世代を担う人材を育成する。	学園づくり推進事業の実施 ・13中学校区、4義務教育学校区で特色ある学校、学園づくりを実施 ・コミュニティ・スクールの設置 ・56校（青谷小、青谷中は2校で1学校運営協議会）	令和5年度からは、「魅力ある算数・数学等実践推進事業」、「笑顔あふれる自治力育成研究事業」の事業を本事業に統合し、児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、創意工夫のある学校づくりに対する予算配分を適切に行い、特色ある教育活動をより一層推進していく。	教育委員会	学校教育課	281
10	○	G I G Aスクール構想事業費	これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育て、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育の実現に向けてICTを効果的に活用した学習を行うため、ICT環境を整備する。	ICT機器を活用した学習環境の整備 ・市立小・中・義務教育学校ICT環境整備 電子黒板111台整備 ・Wi-Fi環境整備助成金 5件	子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育を実現し、これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育てるために、継続してICT環境の整備を進める。	教育委員会	学校教育課（総合教育センター）	281
11	○	一般管理費（学校給食センター）	施設の老朽化、設備の陳腐化が進む学校給食センター（8センター）について、提供食数の推移等を総合的に考慮しながら、効率的かつ持続可能な運営となるよう、再整備に取り組む。	・鳥取市学校給食センター整備計画検討委員会の開催 7回 ・学校給食センター整備手法等調査業務の委託 令和5年3月契約締結（令和5年度に繰越）	第一期の学校給食センター整備を行うにあたっての整備計画を策定し、令和9年度の開設を目指して整備を進めていく。	教育委員会	学校保健給食課	289
12	○	オンライン語学指導事業費（コロナ克服・新時代開拓省庁分）	生徒が外国人講師と1対1で直接会話をすることで英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。	英語によるコミュニケーション能力の育成に向けたオンライン授業の実施 ・マンツーマン英会話（月1回）：気高中で実施（授業回数：1,396回）	英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、全中2・3年、義務教育学校8・9年生にマンツーマン英会話授業（年間6回）を実施する。	教育委員会	学校教育課	275

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
13	○	GIGAスクール構想事業費（コロナ克服・新時代開拓省庁分）	これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育て、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育の実現に向けてICTを効果的に活用した学習を行うため、ICT環境を整備する。	ICT機器を活用した学習環境の整備 ・GIGAスクール運営支援センター運営委託事業 ・校内ネットワーク整備事業：小・中・義務教育学校51校のアクセスポイントが未整備の特別教室へ整備 ・教員用端末および学校用モバイルルータ整備事業：教員用端末235台、モバイルルーター70台整備	子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育を実現し、これからの社会を生きぬくために必要な情報活用能力を育てるために、継続してICT環境の整備を進め、同時に機器の効率的な活用ができるようサポートを実施する。	教育委員会	学校教育課（総合教育センター）	380
14	○	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	本市に所在する大学または専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業への就職促進活動や魅力発見活動を支援し、若者の定住につなげる。	・学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 1件 ・学生の麒麟のまち圏域内への就職を促進する事業及び学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 2件	就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。	企画推進部	政策企画課	-
15	○	オンライン語学指導事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	生徒が外国人講師と1対1で直接会話をすることで英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。	英語によるコミュニケーション能力の育成に向けたオンライン授業の実施 ・マンツーマン英会話（7月～月1回） 湖東中（授業回数：4,515回） 高草中（授業回数：1,083回）で実施	英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、全中2・3年、義務教育学校8・9年生にマンツーマン英会話授業（年間6回）を実施する。	教育委員会	学校教育課	275
16		学校働き方改革推進事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	全中学校・義務教育学校（後期課程）に定期テスト等の自動採点システムを導入し、学校における働き方改革を推進する。	9月の時間外労働時間の平均値 ・40.0時間（目標値：43.0時間）	引き続き自動採点システムを活用し時間外勤務時間の更なる削減に取り組むことにより、子どもの指導に専念できる時間を確保し教育の充実を図る。	教育委員会	学校教育課	280